

復刊

# ハザミ



所沢図書館だより  
復刊2号(通巻80号)  
題字 高橋 玄洋氏

## 目次

- P.1 図書館、楽しんでやった！夏休み
- P.2~4 図書館のあゆみ
- P.5 図書館活用法
- P.6 トペアの分館めぐり
- P.7 あなたの街の図書館から

図書館、楽しんでやった！夏休み

日ごろ静かな図書館に、たくさん子どもたちの声が聞こえてきます。

そこで、ああ、夏休みがきたんだなど、実感します。

宿題のための資料探し、休みの間に読む本探し：目的はそれぞれですが、一人ひとりの子どもたちが、目を輝かせて、書架の間を巡っています。

そんな子どもたちにもっと図書館を楽しんでもらいたく、この夏いろいろなイベントを実施しました。今回は、その様子を写真で紹介いたします。

本館では、「こわいおはなし会」と「ポンポン船をつくらう」を開催しました。

とっておきのおはなし会  
〈椿峰分館〉



ポンポン船をつくらう！  
〈本館〉



図書館にプラネタリウム?!  
〈所沢分館〉



坂をコロコロ大実験！  
〈新所沢分館〉



工作教室  
〈松井小学校  
図書館〉



ぬいぐるみの  
おとまり会  
〈狭山ヶ丘分館〉



せみの  
抜け殻  
しらべ  
〈柳瀬分館〉



ミニおはなし会  
〈富岡分館〉



# 所沢図書館のあゆみ (二)



## 成長期く移動図書館の活躍と新館建設く

所沢市立所沢図書館は、昭和三十九年九月十四日に、所沢小学校正門前の旧実科高等女学校の一部を使用して開館しました。

開館当初は蔵書数約四千冊の小さな図書館でした。図書館長は教育長が兼務しており、二名の職員で運営していました。

昭和四十年六月十六日の「家庭新聞」には、所沢図書館が、県公立図書館連絡協議会から表彰を受けた記事が載りました。これは、図書館員らが図書の充実を図り、設備もよく、利用者も多く成果をあげているという内容でした。

開館から一年半後には、職員が五名に増員され、蔵書数約七千四百冊、寄贈を含めた新聞が二十一紙、雑誌六十五誌に増え、資料の充実を図っていたようです。

この頃から、「広報ところざわ」で「図書館だより」の欄を設け、

新刊図書などを紹介して利用促進のためのPRを始めました。

現在と大きく違うのは、「館外貸出は毎週土・日曜日。はじめての方は印かんと身分証明書をお持ちください」という点です。

昭和四十二年十二月の広報では、「個人貸出は開館中随時」と変わりました。

開館記念日の九月十四日を休館日としたのも現在とは異なっています。

また、昭和四十一年く四十三年の図書館要覧には、読書グループの育成と、公民館や出張所を配本所とした遠隔地サービスも努力目標として掲げています。

五、六名の読書グループを作って登録すれば、三〇冊一ヶ月間、図書が借りられ、「月一回おとりかえにまいります」とPRしていました。

出張所には、一ヶ月に一回三〇冊の本を配本して貸出をしていました。

昭和四十二年五月には、所沢市の人口が十万人を超え、図書館でも、蔵書数が二万冊を超えました。市民の文化的欲求も高まり、これまでの建物では手狭になってきました。

このような状況を受け、昭和四十五年、市制施行二十周年記念事業の一つとして、所沢市文化会館（宮本町）が建設されます。



(文化会館／昭和45年撮影／生涯学習推進センターふるさと研究エリア所蔵)

図書館は、この文化会館三階の一部と四階に移転します。広さは、延約六七六㎡あり、それまでの図書館（一〇二㎡）の六倍以上の広さになりました。

三階には、児童閲覧室と図書館事務室、四階には、一般閲覧室と新聞コーナー、書庫などがありました。この時に毎週の休館日も、金曜日の午後から、現在と同じ月曜日になりました。

昭和四十六年、故山田力蔵氏のご家族から二千五十八冊の本が寄贈されました。

寄贈された本は、大正末期から昭和初期にかけての文学全集や浮世絵集などで、貴重な本が多くあり、「山田文庫」として図書館の書架に並びました。

現在も図書館本館で保管しています。劣化が激しいため貸出は行っていませんが、企画展示などでご紹介しております。

この頃から蔵書数も増え、昭和四十六年の広報では、一人二冊まで一週間の貸出となり、昭和四十七年一月からは、一人四冊まで二週間の貸出となっていくきます。

昭和三十九年の開館当初から、埼玉県立図書館の移動図書館車「むさしの号」が、所沢市内で巡回貸出を行っていました。

「むさしの号」は、昭和四十五年までは一ヶ月に一回、市内三ヶ所の駐車場を巡回しました。

昭和四十七年に県立図書館が、人口集中度の高い中高層住宅地を対象に、一日図書館を開設、市内の「新所沢」と「こぶし団地」に巡回を始めます。

一日図書館は大型図書館車に約四千冊の本を積んで、一ヶ月に一回、午前十時三十分から十五時まで開館していました。

「日刊新民報」八月四日の記事によると、同年七月の「新所沢」巡回時には、埼玉県内の巡回駐車場の一日あたりの貸出冊数の新記録を出すほどの盛況ぶりでした。

県立図書館移動図書館利用統計			
年度	駐車場数	利用者数	貸出冊数
昭和39年	3	280	1682
昭和40年	3	190	1097
昭和41年	3	171	1164
昭和42年	3	198	980
昭和43年	3	370	1370
昭和44年	3	540	1293
昭和45年	3	—	1515
昭和46年	4	1965	9746
県立図書館1日図書館利用統計			
年度	駐車場数	利用者数	貸出冊数
昭和47年	2	1556	25332
昭和48年	1	2543	17230
昭和49年	1	1737	13565
昭和50年	1	507	3895

昭和四十七年、所沢図書館は移動図書館車を購入します。これは、県内の市町村図書館で七番目の導入で、市内遠隔地へのサービスの充実に必要な役割を果たすこととなります。

広報などで名称を公募した結果、抽選で「いずみ号」に決定しました。そして、同年九月より約二千冊の図書を積んで、市内十一ヶ所の巡回を開始しました。



（「いずみ号」貸出風景／所沢図書館所蔵）

「いずみ号」は、新しい利用者をつとんどん獲得し、貸出冊数を増やしていきます。

平日の昼間の巡回のためか、利用者のほとんどは主婦や子どもたちで、小説や家庭向き実用書のほか、絵本や児童書、紙芝居などを積んで巡回しました。

昭和四十八年には駐車場が八ヶ所増設されました。図書資料購入費も増額され、移動図書館用図書の購入に当てられました。利用者の要望には程遠い蔵書数でした。同年、県立図書館の一日図書館車は「新所沢」のみの巡回になります。

昭和五十年、図書館利用に対する要望が高まる中、「いずみ2号」車を購入します。これにより県立図書館の一日図書館巡回は終了します。

移動図書館いずみ号利用統計			
年度	駐車場数	利用者数	貸出冊数
昭和47年	11	8428	37448
昭和48年	19	27451	108648
昭和49年	19	36687	122371
昭和50年	33	52633	173576
昭和51年	33	59053	191294
昭和52年	33	53163	172794
昭和53年	33	39318	133175
昭和54年	34	20521	67380
昭和55年	34	16595	56613

「いずみ号」は「小鹿のバンビ」の音楽にのって、駐車場も増設され、二台で三十四ヶ所を月二回の割合で巡回しました。

また、駐車場や来館者の安全確

保のために、自治会の責任者などが運営委員や駐車場責任者となり、連絡や当日の整理などのお手伝いをしていただきました。

移動図書館は、「暮らしの中に図書館を」をモットーに、たくさんの方に利用されました。

昭和四十六年六月、社会教育課より視聴覚機材を移管され、16ミリフィルムや映写機の貸出事務を始めました。この貸出事務は、昭和五十七年に視聴覚センターが建設されるまで続きます。

また、昭和四十九年十二月から、レコードの貸出も開始し、早くから視聴覚資料にも力を入れます。レコードの貸出は、昭和五十五年館内試聴サービスとなります。

昭和五十年、五十一年の図書館要覧をみると、子どもを持つ母親のために、講師を招いて「読書指導講座」を開き、子どもと本の結びつきを深める事業や、製本講習会を開催しています。

また、埼玉県立図書館の児童奉仕研修会に参加して職員専門性を高め、「おはなし会」を行事に取り入れたのもこの頃からです。

内容は現在と同じ、幼児と小学生を対象に、絵本の読み聞かせと昔話などを語るストーリーテリングで構成され、職員は自主勉強会を開いて技術を研鑽していました。

「おはなし会」は昭和五十二年度から、毎月二回の定例行事になり、昭和五十四年度には毎週土曜日の実施に定着しました。

また、地域の読書グループの指導者を対象とした「おはなし勉強会」も年間を通して実施しました。

昭和五十三年、目の不自由な方にも図書館を利用してもらうと、埼玉県立川越図書館の協力・指導のもとに「対面朗読」事業を開始します。当時の図書館には適切な場所がなかったため、他の公共施設を利用して、朗読奉仕者の協力でサービスを行いました。

着実に事業拡大を果たしていた図書館にも、昭和四十八年から始めたオイルショックの影響は、少なからずありました。紙材急騰による図書単価の高騰は著しく、図書の購入に苦勞したようです。そうした状況下でも、社会教育

活動に関する市民の関心は高いものがありました。

文化会館内に併設した図書館では、近い将来必ず限界があることが懸念され、本格的な図書館建設が叫ばれるようになりました。

蔵書冊数の推移			
年度	蔵書冊数	年度	蔵書冊数
昭和39年	3687	昭和48年	46765
昭和40年	7441	昭和49年	57630
昭和41年	8726	昭和50年	68310
昭和42年	10846	昭和51年	80345
昭和43年	12404	昭和52年	88496
昭和44年	14587	昭和53年	93078
昭和45年	17167	昭和54年	184101
昭和46年	23833	昭和55年	182299
昭和47年	36488	昭和56年	221891

昭和四十年代半ば、所沢市は、基地返還運動とからめて県立図書館の誘致について近隣市と共同で県に請願、陳情します。ところが、県立図書館は川越に建設されることとが決まったので、所沢市は県立図書館並みの規模を持った中央館の建設を計画しました。

昭和五十一年四月、所沢市は「図書館建設委員会条例」を制定し、航空記念公園内に新しい市立図書館建設の準備を始めます。

図書館は業務の充実整備を図り、基盤を固めることに努める一方、施設や運営について各地から資料を集め、視察を行うなどして、意欲的に新館建設に取り組みました。一方では建設用地を、基地跡に建設中の県営航空記念公園内に計画し、市を挙げて埼玉県に対し強力な働きかけを行いました。

昭和五十二年十二月には、図書館設計の公募が行われ、昭和五十三年度、設計についての細かい詰めや、請負工事業者の入札・決定がされました。

しかし、基地跡地がもともと国有地であったため、県と国との関係で設置許可の承認が遅れたため、工事着工は翌年一月になりました。

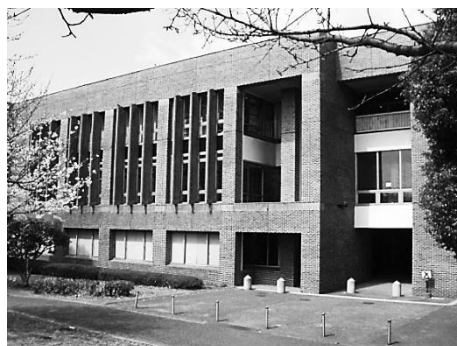
新館のための図書購入費約八千八百万円の予算も付き、館内備品も揃え、準備が着実に進んでいきました。

そして新たに司書五名を採用し、昭和五十五年五月に現在の本館がオープンします。

新しい図書館は、収容冊数三十万冊、コンピュータシステムを導入した、当時としては画期的な図

書館でした。

独立した本館が建ち、いよいよ分館建設が相次ぐ拡張期に入っていきます。



(所沢図書館本館／所沢図書館所蔵)

《参考資料》

- 『所沢市史―現代資料』
- 所沢市史編さん委員会編
- 『所沢市史』下巻
- 『所沢市史編さん委員会編』
- 『広報とくろざわ』
- ―総集版第2集―
- 『埼玉の移動図書館』
- 全国図書館埼玉大会
- 実行委員会 発行
- 『所沢図書館の建設』
- 所沢市立所沢図書館
- 『所沢市立所沢図書館要覧』

# 図書館活用法

## 学校との連携事業

所沢図書館では「所沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、市内の学校を通じて、小・中学生に向けた様々なサービスを行っています。

**こんなサービスを行っています！**

### 《楽しいブックトーク》

平成四年度より司書が小学校を訪問し、図書館の利用案内とブックトーク(本の紹介)を行う「学級訪問」という事業を行っています。子どもたちに本の楽しさを知ってもらいたいという願いを込めて始めたサービスです。

学級訪問は学校生活にも慣れ、ひとりて本が読めるようになる小学校三年生を対象としています。他学年についても希望により実施しています。今年度も市内小学校三年生九十四クラスから申し込みを受けました。

### ☆学級訪問の実際

四十五分の授業時間に合わせて、利用案内五分、ブックトーク四十分のプログラムで五冊程度の本を

紹介します。絵本の読み聞かせや、クイズなども取り入れ、子どもたちが興味を持てるように、絵本・物語・昔話・科学の本など様々なジャンルの本を取り入れて紹介しています。

ブックトークが終わった後でも楽しめるように、紹介した本を含めて四十冊の本を一か月間、各学級に貸出しています。



### 《団体貸出》

授業での調べ学習や、学級文庫などに使用する本を学校に貸出しています。貸出期間は一か月以内、貸出冊数は一クラス四十冊までです。

本の運搬は、月二回程度、市内小・中学校を巡回している学校連絡業務で行います。

### 《図書館見学》

子どもたちが図書館に親しみ、上手に利用できるように、図書館の利用方法や施設の説明をします。館内めぐりでは、普段は入れない書庫にも入りますが、本館を訪れた子どもたちは、電気で動く書架にびっくりします。学校の希望により、おはなし会やブックトークなどを行うこともあります。

### 《調べ学習での来館》

授業の中でクラス単位やグループ単位で図書館に来館し、調べ学習をすることができます。その際、子どもたちが自分で調べることができるよう図書館員がお手伝いします。

### 《職場体験・教員研修》

図書館への理解を深めていただくために、毎年、中学生の職場体験や教員の社会体験研修の受入を行っています。

### 《ブックリストの発行》

所沢図書館では、小・中学生向けにおすすめの本のブックリスト

「ほんがいっぱいよんでみよう！」を発行しています。一・二年生向け、三・四年生向け、五・六年生向け、中学生向けの四種類です。毎年夏休み前に市内小・中学校の全児童・生徒に学校を通じて配布しています。



### ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

所沢図書館では、子どもたちに図書館を身近に感じてもらえるよう、市内の八つの図書館本・分館がそれぞれ近くの小・中学校を担当し、サービスを行っています。

今後も学校や司書教諭との連携を一層深め、子どもの読書活動の推進に努めてまいります。

# トベアの分館めぐり

## 第2回 特別編

### 松井小学校図書館

ぼくは図書館のマスコット「トベア」です。  
2回目は、所沢図書館の分館ではないけれど、地域開放型の学校図書館、松井小学校図書館を紹介するよ！



**松井小学校図書館【基本情報】**  
〒359-0025 上安松895  
TEL04(2992)2796 FAX04(2992)2797  
西武バス「松井」バス停より徒歩1分  
ところバス東路線(松井循環コース)  
「西武秋津団地」バス停より徒歩5分  
開館時間 9:30~17:00  
休館日 月曜、祝日(月曜の場合は、翌火曜も休館)、図書の整理日



松井小の正門からまっすぐ行くと入口が見えるよ。ここが図書館の入口になるんだね。



ひろくてのびのびとした  
読書スペースだね。  
これだと気軽に読書できるね。



佐々木館長さん、  
こんにちは！

トベアくん、  
ようこそ  
松井小学校  
図書館へ。



季節にあわせたいろいろな展示をして  
子どもたちに本の紹介しているよ。



松井小の児童でなくても、市内に住む、  
小学生以下の子どもなら保護者同伴で  
本が借りられます。  
また、所沢図書館の資料を予約したり、  
貸出・返却ができるんだって！  
詳しくは、図書館で聞いてね。



毎月開催している工作。何を作っているのかな？  
みんな楽しそうだね。



今夏の展示コーナーは、  
ロンドン五輪特集でした。  
この情報があったから  
盛りあがることができましたよ。

子どもの笑顔があふれる  
松井小図書館のスタッフです。  
よろしくお願いします。



あなたの街の図書館から、市内7館の分館と1校の小学校図書館からのお知らせ

## 所沢分館

11月17日(土)と18日(日)に図書館まつりを開催します。17日は13時からBGMと共に郷土展示「所沢を知ろう」、18日は11時より児童対象に、工作・お絵かきなどの「うきうきわくわく所分まつり」を開催します。他にも「特別おはなし会」、「子ども&市民映画会」、「トベアをさがせ」など盛りだくさんで、皆様のご来館をお待ちしております。

## 椿峰分館

11月17日(土)と18日(日)に図書館まつりを開催します。17日は0才〜3才のお子さまとその保護者を対象に「親子おはなし会」、18日には大人の方を対象に「ミニブックトーク」を予定しております。また、17日・18日共に「トベアをさがせ!」も開催予定ですので、ぜひご参加ください。

## 狭山ヶ丘分館

お子さま連れでのご利用が多い狭山ヶ丘分館では、児童書コーナーに子育てに関する本を集めました。図書館まつりの11月24日(土)・25日(日)は終日、スタッフおすすめ本を紹介する「図書館くじ」をおこないます。また、24日10時30分から「おはなし会スペシャル」、午後には「高嶋哲夫氏講演会」を開催します。ぜひご参加ください。

## 富岡分館

秋が近づき、図書館周辺では虫の音が聞こえてきました。どんな虫が鳴いているか、図書館で調べてみるのは如何でしょうか。富岡分館では、11月10日(土)と11日(日)に図書館まつりを開催します。10日は「ぬいぐるみおとまり会」、11日は「ぬいぐるみおむかえおはなし会」と「薄井ゆうじ講演会」を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

## 吾妻分館

秋の気配が身近に感じられつつある吾妻分館ですが、11月10日(土)と17日(土)に図書館まつりを開催します。10日は「トベアをさがせ」と「似顔絵を書こう」を14時から、17日は「科学であそぼう!!」と「トベアをさがせ」を14時15分から開催します。皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

## 柳瀬分館

毎週土曜日の10時半から、定例の「おはなし会」があり、毎回変わる語り手が選りすぐりのおはなしをします。11月3日(土)と4日(日)には図書館まつりを開催し、「拡大版おはなし会」、「クイズ」、「キーボード生演奏」など盛りだくさんのイベントを用意しています。皆様お気軽にお立ち寄りください。

## 新所沢分館

当館は開館から半年を迎え、沢山の皆様にご来館いただいております。そこで、11月10日(土)と11日(日)に公民館の文化祭に合わせて図書館まつりを開催します。「おはなし会」や「スタンプラリー」などをおこなう予定です。また同時に「おたより」(館報)を発刊します。「おたより」のタイトルを皆様から募集中ですので、ふるってご応募ください!

## 松井小学校図書館

夏休みは、多くの子どもたちに利用していただき有難うございました。特に今年は、貸出冊数を5冊にしましたので、皆様に喜んでいただけたと思います。11月4日(日)に松井小学校図書館として初めて、図書館まつりを開催します。内容は、「おはなし会」と「たのしい工作」です。ぜひご参加ください。

## ボランティア登場



配架  
ボランティア  
Yさん

単純に見える作業の中で探していた本だったり、思いがけない本に出会うと嬉しくなります。自分なりに工夫しスムーズに配架でき、来館者に尋ねられた事に対応できた時も楽しい限りです。分からない事は何でも職員の方々に教えて頂き新しい知識が増えることも、そして手伝える時間帯が自由なものも続けられる理由のひとつです。

『配架』という言葉に何を思われますか。返却された本の背表紙の番号（三桁く六桁）順に書架に戻すことです。

## 図書館まつり 実行委員長の思い



実行委員長  
田口元也  
さん

第13回図書館まつりのテーマは「未来につながる、本との出会い」です。その実行委員長を仰せつかりました。本との出会いは、子どもの頃クリスマスにサンタクロースが枕元に絵本を置いていてくれたのが始まりで、中学校では、あこがれの図書委員で図書室に入り浸っていました。

した。そんな縁かどうかは定かではありませんが、仕事は出版社。気がついたら40年間、本との暮らしでした。近ごろ、活字離れ、図書離れが話題になっていますが、子どもの頃の新刊本を開くあの「ドキドキ、ワクワク」感を今の子どもたちに送りたい。そんな図書館まつりにしたいと思っています。愛読書は「ガンバと十五ひきの仲間『冒険者たち』」です。

## 図書館まつり★各館の日程

今年の図書館まつりは各館で日程が異なります。各館をめぐり雰囲気味わってみてはいかがでしょうか。

本館	…10月27日(土)・28日(日)
所沢分館	…11月17日(土)・18日(日)
椿峰分館	…11月17日(土)・18日(日)
狭山ヶ丘分館	…11月24日(土)・25日(日)
富岡分館	…11月10日(土)・11日(日)
吾妻分館	…11月10日(土)・17日(土)
柳瀬分館	…11月3日(土)・4日(日)
新所沢分館	…11月10日(土)・11日(日)
松井小学校図書館	…11月4日(日)

## 編集後記

- ◆「美味多く、皆肥ゆる秋…」食いしん坊には幸せな季節です。(O)
- ◆今年の夏は、暑かった。でもお陰で、小さな秋の気配がうれしくて。(T)
- ◆図書館を活用して、素敵な夜長を過ごしたい今日この頃です。(H)
- ◆読書の秋！難しい本に挑戦！毎年同じ本なのは気のせい。(Q)
- ◆ラジオで電子図書のニュース。紙と印刷の文化はどうなる？(A)
- ◆秋は、「図書館まつり」で大いに盛り上がりましょう！(M)

編集発行：所沢市立所沢図書館 〒359-0042 所沢市並木1-13

ホームページアドレス

パソコン <https://lib.city.tokorozawa.saitama.jp>

携帯電話 <https://lib.city.tokorozawa.saitama.jp/k>

電話 / FAX

本館	04-2995-6311 / 04-2992-1421
所沢分館	04-2923-1243 / 04-2928-8195
椿峰分館	04-2924-8041 / 04-2928-8148
狭山ヶ丘分館	04-2949-1193 / 04-2949-8577
松井小学校図書館	04-2992-2796 / 04-2992-2797

富岡分館	04-2943-3636 / 04-2943-6680
吾妻分館	04-2924-0249 / 04-2928-8250
柳瀬分館	04-2944-4023 / 04-2945-7236
新所沢分館	04-2929-1905 / 04-2929-1906

2012年10月20日発行 復刊いずみ2号(通巻80号)